

国際政治

149

周縁からの国際政治

日本国際政治学会編

序章 周縁からの国際政治	竹中千春
忘れられた人々	藤原帰一
イラク政治におけるジェンダー	酒井啓子
民族的少数派となる恐怖	月村太郎
民主化がもたらした異議申し立て	戸田真紀子
国境管理をめぐる政治	飯笹佐代子
ヨーロッパ・ムスリムの市民アイデンティティ	浪岡新太郎
反移民暴動における民衆のエージェンシー	木村真希子
マフィア・国家・安全保障	本名純
元戦闘員が再統合される社会の検討	山根達郎
「子どもの権利」と新たな国際秩序の模索	勝間靖

<書評>

葛谷彩著 『二〇世紀ドイツの国際政治思想』	戸澤英典
吉村慎太郎著 『イラン・イスラーム体制とは何か』	松永泰行
阪口功著 『地球環境ガバナンスとレジームの発展プロセス』	亀山康子
段家誠著 『世界銀行とNGOs』	古城佳子
石橋純著 『太鼓歌二耳をかせ』	矢澤達宏
後藤春美著 『アヘンとイギリス帝国』	初瀬龍平

2007年11月刊